

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月4日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873101166		
法人名	有限会社 シニアライフ		
事業所名	小川ケアセンターみどりの風	ユニット名	
所在地	〒311-3424 茨城県小美玉市幡谷204-60		
自己評価作成日	平成22年8月1日	評価結果 市町村受理日	平成23年3月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年9月28日	評価確定日	平成23年1月25日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>小規模施設で通所介護併設と言う利点を活かし、外部との交流を重視し、開設者の地元のため近隣の子ども会との交流企画を実施している。 自然に囲まれたとても静かな住宅街にある為、外観も施設ではなく、住宅地に溶け込むように配慮している。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>介護経験豊富な管理者のもと、全職員は地域密着型グループホームの理念に基づき、利用者一人ひとりに寄り添いながら、利用者本位の介護を実践している。 通所介護事業所を併設し、地域に根ざした事業所となっている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設内に掲示・朝礼時復唱	「その人らしさを大切に、当たり前前の生活を送り、家族のような温かさで、安心した生活作りをお手伝いする。」との事業所独自の理念を作成し玄関や事務所に掲示するとともに、職員は朝礼時に唱和して共有を図り実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事を通して交流している	管理者や職員の多くは地元に居住しているため地域住民と日常的な付き合いがあり、事業所の地域との付き合いにつながっている。 自治会から利用者に敬老会への招待があるほか、事業所の納涼祭には近隣住民が参加し、利用者は地域の人々と交流している。 ホームヘルパー2級養成講座の実習場所として事業所を提供している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行政主催の講習会にメンバーとして参加		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催	運営推進会議は市職員や民生委員、地域の人々が参加し2ヶ月に1回開催するとともに、事業所での取り組みや問題を相談しサービスの質の向上に活かしている。 会議に家族等の参加が得られるまでには至っていない。	事業所だよりなどを活用し運営推進会議の内容や次回開催日を知らせ、多くの家族等の参加が得られるよう働きかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に行政職員参加・地域ケアシステム参加	管理者は市担当者から情報を聞いたり、市担当者に空き情報の報告や相談などのほか、市主催の認知症サポーター養成講座の講師を務めるなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設当初より施錠なし	身体拘束防止のポスターを玄関に掲示し、全職員は禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為を把握するとともに、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	行政主催研修会に参加		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対象利用者がいないが今後必要があれば勉強会を実施		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明同意の上締結している 法改正の際は契約書別紙にて随時締結		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にて実施している	職員は家族等の面会時に声をかけ、希望や要望を聴くように努めている。 重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 遠方に住む家族等や面会に来られない家族等からの意見や要望を汲みあげるまでには至っていない。	予定している家族アンケートを実施し、出た意見等を職員で話し合い、サービスの質の向上に活かすことを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議にて実施している	管理者は月1回の職員会議で職員から意見等を聞き、出た意見等を運営に反映させている。 管理者は日々の介護現場で職員の意見を聞き、その場で解決できる場合はすぐに取り入れるほか、その場で解決できない場合は職員会議で取り上げ、全職員で話し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表・管理者が現場で勤務し随時問題や勤務状態などの把握をしている ・キャリアパス導入		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会の実施		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者が茨城県介護福祉事業協同組合理事 茨城県地域密着型介護サービス協議会会員		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族からの聞き取り調査をしている。ご本人との面会も行っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	同上		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	同上		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	時々で状況に合わせて対応出来てはいるが、どうしても介護依存してしまう傾向もあり		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	いつでも面会・外出・外泊を自由に行っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	上記の実施は有るが、その場所に行く事で本人の混乱・家庭の知られたくない部分に該当する事もあるが、要望により支援出来る体制である。	家族等の協力を得て利用者が馴染みの理・美容院に行けるように支援している。 職員は利用者が友人に手紙を出せるよう代筆などの支援をしている。 入居前からの「踊りの会」の友人の訪問がある時には、お茶を出したり再来を働きかけるなどして馴染みの関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居期間が全員2年以上と長期の為、個々の過ごし方が確立されている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談が有れば応じる		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	基本的に過ごし方は自由で、基本的なスケジュールで日中の個人のペースを作ってもらう	職員は利用者の動きや表情を観察し意向の把握に努め、利用者本位に支援している。 職員は利用者への支援が押しつけないにならないよう、利用者一人ひとりの過ごし方を日々話し合っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの聞き取り調査にて			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録を毎日記入状況の把握出来ることは実践していただく。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は御家族の同意・意見を聞き作成している	介護計画は家族等の要望や職員の意見等を取り入れて作成しているが、アセスメント表を用いたアセスメントが実施されていないため、より具体的な介護計画を作成するまでには至っていない。 3ヶ月に1回モニタリングを実施し利用者の現状に合わせて介護計画を作成しているが、モニタリングの結果が十分に反映されていない場合がある。	アセスメント表を用いてアセスメントを行い、家族等の話や日々の介護の中での気付きから短期目標を具体的に立て、モニタリングの結果を介護計画に反映する取り組みを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルの作成をしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	小規模の為、臨機応変に対応可能		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生員・ボランティアの訪問は定期的に行われている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に定期的に受診していた病院には継続して受診してもらっている。家族・本人の意向があれば変更可能	利用者の入居前からのかかりつけ医の受診を職員が付き添い支援しているほか、協力医療機関の医師による週1回の訪問診療がある。 必要に応じて家族等にも来てもらい医師からの説明を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の配置無いが、週に1度ドクターが来所し医療面を充実させ、それ以外は24時間ドクターと連絡可能。デイ看護師へ相談も可能		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	生活サマリーの提供・早期退院の相談実施		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	今年1件の看取りを実施	<p>今年度初めて協力医療機関の医師の協力を得て看取り介護を行った際には、家族等と関係者で話し合い利用者本位に検討し支援した。</p> <p>看取り介護を行うには、事業所の対応方針である「終末期及び看取りに関する同意書」では内容が不十分だが見直すまでには至っていない。</p> <p>重度化や終末期に向け、段階毎に利用者や家族等の意思確認書を作成するまでには至っていない。</p>	<p>看取り介護に向け事業所の対応指針を見直し作成するとともに、契約時に利用者や家族等に事業所でできることやできないことを説明することを期待する。</p> <p>重度化に伴い段階毎に利用者や家族等と話し合い、意思確認書を作成することを期待する。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	介護経験が長い職員が大半で緊急対応法の勉強会も以前行っているが、定期的にする必要性は有る為、9月消防署の講習会実施予定		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	定期的に避難訓練実施	年2回の避難訓練を実施するとともに夜間想定避難訓練を実施しているが、近隣住民の参加を得るまでには至っていない。	<p>災害時に近隣住民の協力が得られるよう、避難訓練への参加を呼びかけることを期待する。</p> <p>今後予定している消防署指導の救急救命訓練にも近隣住民の参加が得られるよう働きかけることを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会を実施し対応法を勉強した	職員は利用者の人格を尊重した対応ができるよう勉強会を開催しているほか、外部講師を呼び認知症の方への対応を学んでいる。 新人教育に組み入れたり倫理規定で定め、職員は利用者の誇りを傷つけない対応をしている。 紙おむつは人目にふれないように居室のクローゼットに保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる言葉掛けはしているが、認知症のレベルのより困難な場合もある		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に過ごし方は自由で、基本的なスケジュールで日中の個人のペースを作ってもらってはいるが、こちら側の都合による場合もあるの		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容師の定期的な訪問により、個人の好きな髪型にしてもらい本人の希望であれば馴染みの理美容室の利用をしてもらっている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自発的に行う利用者にはしてもらおうが、本人のストレスとなることが多い為強要はしていない	朝食は全て事業所で作っているが、昼食と夕食は事業所では主菜と汁を作り、副菜は併設の通所介護事業所で作っている。 できる利用者は自発的に下膳を行っている。 利用者が参加しておやつのおこ焼きを作ったり、職員は流しそうめんや外食、出前などを取り入れ食事が楽しめるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量のチェックをしている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食口腔ケアを実施し介助が必要な方には見守り一部介助にて実施		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時トイレ誘導・声掛け実施し排泄チェック表を作成	職員は排泄チェック表により利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、時間を見計ってトイレ誘導をしている。 夜間は居室にポータブルトイレを置くなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動は取り入れているが、ひどい便秘などドクターとの相談になっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	午前中に入浴となっているが、個々に十分な入浴時間・安全性確保をする為に時間を決めている。時間・タイミングをバラバラにすると、その確保が難しく、入浴しない利用者も出て来るため清潔保持も難しい	入浴は午前中、1日おきに支援しているが、毎日風呂を準備し利用者の希望に合わせて入浴できるよう支援している。 近隣住民からゆずの差し入れがあった時はゆず湯にするなど、季節や香りを楽しみながら入浴できるよう支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息・昼寝は個々の自由 昼夜逆転しない程度での管理はしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルにて確認・薬局との連携		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人のストレスとならなければ、自由にやって頂き援助する		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候・体調によるが散歩などの気分転換・ドライブを実施しているが、本人・家族の希望があれば支援。	事業所は自然が残る住宅街の一面に位置し、利用者は天候が良い時には散歩に出かけているほか、併設する通所介護事業所の車両で、花見やドライブなどに出かけている。 家族等の協力を得て利用者の希望する場所に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭トラブルになる為、使う状況になる以外は金庫にて管理		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望に応じ支援		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	設計段階で空調・風の流れ・光・周囲の景色を配慮し設計	玄関はバリアフリーで、居室や居間、廊下のどこからも四季の風景を楽しむことができる。 居間から和室が続き、利用者は好みの場所で自由に過ごしている。 居間の前に広い木製のベランダを設置して、利用者が自由に出入りし外気にふれたり眺めを楽しめるよう工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペース（和室）ホールには食卓以外にソファの設置		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具の持ち込み自由。各家族により部屋を作って頂き、各居室の雰囲気を変えるようにしている	居室には衣類や紙おむつなどが収納できる大きなクローゼットが備え付けてある。 職員は居室に利用者の使い慣れた物を持ち込んでもらい居心地よく暮らせるように支援している。 利用者は居室にベッドやタンスを置き、好みの置物や家族写真を飾っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	無駄な掲示物は無く、自分達で認識し行動出来るようにしてある。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 小川ケアセンターみどりの風

作成日 平成23年3月29日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の近隣との連携	連携の確保	自治会との連絡協議を行なう	23年2月達成済
2	26	モニタリングの結果反映されていない	モニタリングの見直し	書式の変更・プランの見直し・立て直し	23年度より実施し全入居者のプラン作成済
3	10	家族の意見反映	アンケート実施	アンケート作成し家族へ配布	今年度中
4		推進会議の家族出席率	多くのが家族出席	曜日の設定や出席の働きかけを多く行なう	随時
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。